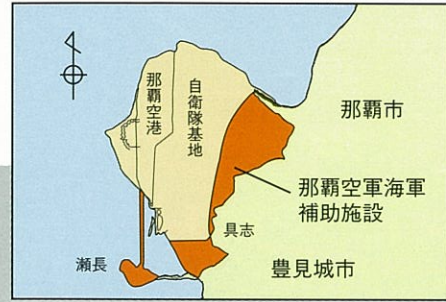


# 那覇空軍・海軍補助施設（那覇市、豊見城市）

- 1 基地名：那覇空軍・海軍補助施設
- 2 所在地：那覇市宮城・赤嶺・田原・金城・高良・具志・字当間・字安次嶺  
・字鏡水・豊見城市字瀬長
- 3 返還面積：3,787千㎡

## 4 主な沿革

- ・昭和20年：米軍により強制接收
- ・昭和40年：48千㎡が返還
- ・昭和48年～50年：31千㎡が返還
- ・昭和51年：197千㎡が返還
- ・昭和52年：165千㎡が返還
- ・昭和53年～56年：955千㎡が返還
- ・昭和57年：2,278千㎡が返還
- ・昭和58年～61年：113千㎡が返還(61年で全部返還)



## 5 接收の経緯

この施設があった地域は、那覇空港の背後に広がり、戦前は平坦で肥沃な農地が広がる純農村地帯として都市への生鮮野菜の供給地となっていた。

しかし、去る大戦によって米軍の占領下に置かれ、那覇飛行場の補助施設として使用されてきたが、主に将校、下士官及び軍属用の住宅地域となり、幼稚園、遊園地、ゴルフ場、PX、銀行等が配置されていた。

## 6 返還の経緯

昭和40年から十数回に分けて返還があり、昭和55年に918ha、57年に2,278haの大部分が返還される。昭和61年に41haが返還され、全部返還となった。

## 7 現在の土地利用状況

返還跡地は、小禄金城地区、高良宇栄原地区、具志宮城地区の3地区で土地区画整理事業が実施され、特色ある街づくりが行われており、郊外型店舗の進出や那覇市のベッドタウンとして発展している。

また、一部については陸上自衛隊等が使用しているほか、豊見城市の瀬長島は、市営球場などが整備されている。

※小禄金城地区土地区画整理事業：施行年度(昭和58年～平成19年)

区域決定[告示日](昭和57年11月22日)

換地処分[公告日](平成9年9月12日)

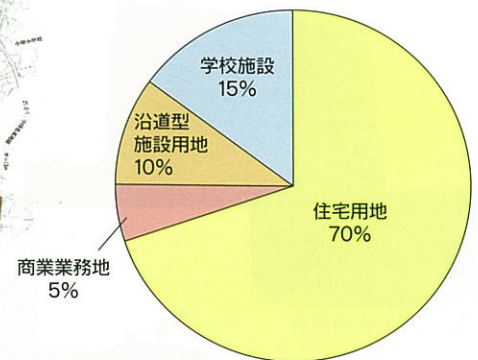
事業面積(108.8ha)

総事業費(16,563百万円)

施行者(市)

小禄金城地区  
土地利用計画図

凡例	
[Yellow line]	施行地区界
[Red line]	都市計画道路
[Green line]	区画道路
[Blue line]	歩行者専用道路
[Blue line]	河川・水路
[Green area]	公園・緑地
[White area]	住宅地
[Orange area]	学校
[Brown area]	公営住宅
[Red area]	地区センター
[Blue area]	下水道中継ポンプ場
[Blue area]	配水場ポンプ場



返還前



昭和47年5月(写真提供:沖縄タイムス)

返還後



小禄金城地区土地区画整理事業が実施され、  
開発が進んだ街並み

平成17年4月(写真提供:沖縄タイムス)



平成19年1月